

I 全体として

(低学年)

全体的に自己評価はよく、ほとんどの項目で、「とてもそう思う」「そう思う」を合計した割合（肯定的に答えた割合）が90%を超えています。昨年度と比べて、肯定的に答えた割合が増えた項目が4つ、減った項目が3つありました。昨年度に新たに加えた「自分の意見を発表できる」の項目は5ポイント増えています。「家の人に学校のことをよく話す」の項目はさらに6ポイント減って、肯定的に答えた割合が80%と最も低くなりました。

(中・高学年)

中・高学年は低学年と比べて、全体的に自己評価のポイントは低くなっています。昨年度と比べて、「給食の時間が楽しみ」の項目以外でポイントが増えた項目はありませんでした。また、昨年度に加えた「自分の意見を発表できる」の項目はさらに6ポイント減って、肯定的に答えた割合が67%と最も低くなっています。

II 項目ごとに

- 1 「学校が楽しい」の項目では、肯定的に答えた低学年は98%で、昨年度より2ポイント減っています。中・高学年は昨年度と同じ93%でした。ほとんどの児童が楽しいと答えていることに一定の安堵感を持ちますが、否定的に答えた児童も少なからずいます。このことについては、様子を見とり、児童一人一人に声掛けをしてその思いを聞き取るなど、不安や不満を取り除くきめ細やかな指導を心がけていきたいと思います。
- 2 「友だちと仲良くしている」の項目では、肯定的に答えた低学年は100%で、昨年度より2ポイント増えています。中・高学年は98%で、昨年度と変わっていません。この項目は、上記1の項目にも関わってくると考えますので、同様に声掛けをしながら個別具体に対応していきたいと考えます。
- 3 「毎日の勉強がわかる」の項目では、肯定的に答えた低学年は96%で、昨年度と変わっていません。中・高学年は91%で、昨年度と比べて3ポイント減っています。課題提示の仕方や子供たちの考えを整理できる板書づくり等、「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」に基づいた学習指導に一層取り組むとともに、児童の実態把握に努め、個別の支援方法を工夫していきたいと思います。
- 4 「自分の意見を発表できる」の項目は、昨年度新たに設けたもので、肯定的に答えた低学年は91%で、昨年度より5ポイント増えました。中・高学年は67%で、昨年度から

6ポイント減り、最も低い項目になっています。グループ学習やペア学習などを授業に取り入れています。中・高学年は意見を発表するのに抵抗感があり、まずは表現できたことを認めるなど、児童が意見を発表してよかったと感じる指導を工夫していきたいと考えています。

- 5 「掃除を一生懸命やっている」の項目では、肯定的に答えた低学年は99%、中・高学年は95%で、中・高学年で少し減りましたが大きな変化がなく、よい数字です。吹上小学校の特色でもある毎日の縦割り清掃で、中・高学年の児童がリーダーシップを発揮し、低学年の良い手本となるように取り組んだ結果だと考えます。今後も、学校全体でみんなが協力して取り組む態度を育てていきたいと思っています。
- 6 「給食の時間が楽しみだ」の項目は、今年度、肯定的に答えた児童が全校で増えた項目です。低学年は3ポイント増えて98%、中・高学年も3ポイント増えて87%になりました。本校の給食は本当に美味しく、みんな大喜びです。しかし、食については個人差もあり、それに適切に対応するとともに、食事時の楽しい雰囲気作りに努めていきたいと思っています。
- 7 「自分からあいさつができる」の項目では、肯定的に答えた低学年は93%で、昨年度と変わっていません。中・高学年は85%と5ポイント減っています。普段の様子を見ていますと比較的あいさつができていると感じますが、今後ともご家庭や地域の皆様の継続した協力をお願いしたいと思っています。
- 8 「家族に学校の出来事をよく話す」の項目では、肯定的に答えた低学年は80%で、6ポイント減りました。中・高学年は76%で昨年度と変わっていません。これからも、ご家庭から子供たちに問いかけていただけるような情報を提供できるよう努めてまいりますので、この点におきましても保護者の皆様の一層のご協力をお願いいたします。
- 9 「社会や学校のきまりについて守っている」の項目では、肯定的に答えた低学年は98%、中・高学年は91%で、昨年度と全く同じになりました。さらなるアップを目指し、これからも、日々の教育活動を通して子供たちの自尊感情を育て、友だちを大切にすることや集団の中でのきまりを守ることのよさを指導していきたいと思っています。
- 10 「学校はきれいで使いやすい」の項目では、肯定的に答えた低学年は96%で3ポイント減り、中・高学年も85%と1ポイント減りました。一部トイレが乾式できれいになり喜んでいますが、施設の古さは否めません。これからも、自分たちで学校をきれいにし、大切に使う意識をさらに高めていきたいと思っています。

平成30年度 保護者アンケートの考察

和歌山市立吹上小学校

- 1 「学校は、教育活動や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えている」の項目では、肯定的に答えた保護者は82%で、昨年度から6ポイント減りました。16%の保護者が「あまり思わない」と回答していることから、時宜を得た情報提供、家庭とのより綿密な連携に一層努めていきたいと思えます。
- 2 「学校は、子どもに分かりやすい授業を工夫している」の項目では、肯定的に答えた回答は87%で、昨年度に続いて1ポイント増えています。今後もより効果的な方法で、分かる授業づくりに努めていくとともに、学習の様子を機会あるごとに伝えていきたいと思えます。
- 3 「学校は、子どもの安全確保・健康管理のための取り組みを十分に行っている」の項目では、肯定的な回答は88%で、昨年度より1ポイント減っています。登下校での交通指導や不審者対策の見守り活動では、保護者や地域の皆様の多大なるご支援をいただいております。校内での安全管理や日頃の健康管理に一層取り組んでいきたいと思えます。
- 4 「学校は、いじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる」の項目では、肯定的な回答が73%で、昨年度より7ポイントと最も減り方が大きくなりました。日頃から一人一人の児童について目を配り、意識や行動の小さな変化を見逃さないように努めてまいりましたが、早急にまた的確に対応できていないこともあり、このような評価をいただいたと真摯に受け止めています。今後も児童の学校内での居場所づくりや、話しやすい環境づくりに努めてまいりますので、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。
- 5 「子ども一人一人が大切にされ、認められる小学校になっている」の項目では、肯定的な回答が83%で、昨年度より1ポイント減っています。この点につきましても、学校での教育活動全般において、どの子ども自分の良さに気づくことができるような取り組みをさらに進めていかなければならないと考えています。
- 6 「子どもに命を大切にする心や、社会のルールを守る態度を教育している」の項目では、肯定的な回答が87%で、昨年度と同じでした。今後も引き続き、保護者の皆様と同じ目線で児童の指導にあたるとともに、地域の方々の協力も得ながら、規範意識の一層の向上に取り組んでいきたいと思えます。
- 7 「家庭・地域は、小学校に対してそれぞれの役割を果たし、連携・協力している」の項目では、肯定的な回答が87%と、昨年度より1ポイント減っています。コミュニティスク

ールの2年目として、吹上の夕べをはじめとする PTA 活動や、交通安全指導をはじめとする地域活動等で、多くの保護者の皆様や地域の方々に協力をいただいているところですが、このような活動をさらに広く知ってもらえるよう広報に努めていきたいと思ひます。

- 8 「学校施設は教育的配慮がなされ、美しく使いやすい」の項目では、肯定的な回答が68%で、昨年度より3ポイント増えたものの、昨年度に引き続き評価が最も低い項目となっています。日頃の縦割り清掃に加え、年2回の PTA の奉仕作業などで日頃行き届かない箇所の清掃や整理を行っていただいておりますが、前述しましたように施設の古さは否めません。これからも安全面に留意しながら環境整備に努めていきたいと思ひます。
- 9 「子どもは、毎日楽しそうに小学校に通っている」という項目については、肯定的な回答が94%と昨年度から1ポイント減りましたが、最も評価の高い項目となっています。このことに満足することなく、100%の児童が学校を楽しみと感じられるような取組みを進めていきたいと思ひます。
- 10 「子どもは、学習内容が分かり、基礎的な学力が身についている」の項目では、肯定的な回答が89%で、昨年度より2ポイント増えています。このことにつきましては、授業づくりと、個に応じた指導・支援が最も重要だと考えています。これからも、まちがったところを直せているか、理解しているか等、児童の実態把握に努め、適切な支援をまいります。
- 11 「子どもは、小学校での出来事をよく話す」の項目では、肯定的な回答が75%で、昨年度と変わりません。このことについては、前述しましたように、保護者の皆様から子供たちに聞かけていただけるような情報を提供できるよう努めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
- 12 「子どもは、誰にでもあいさつができています」の項目では、肯定的な回答が71%で、昨年度より6ポイント減っています。昨年度は8ポイント増えましたが、また元に戻ったようです。児童会の今年度2学期の目標は「元気・あいさつ・思いやり」でした。元気よくあいさつすることで学校全体が元気になります。引き続き、取組みを進めていきたいと思ひます。
- 13 「子どもは、給食の時間を楽しみにしている」の項目では、肯定的な回答は82%で、昨年度に続いてポイントが増えています。児童が、給食に関して大きなストレスを感じなくてすむように、また児童の食に対する意識が一層向上するように、今回の結果を励みとして、食育教育を充実させていきたいと思ひます。